

川尻岬で釣りをされる方へ

高波, 滑落, 転倒 注意

自分は大丈夫... その油断が命取り



川尻岬の事例 1 : 高波による海中転落 (単独)

強風が吹き荒れる中、単独で釣りを実施。

突然の高波に足元をすくわれ海中転落し沖合へ流された。

たまたま付近の釣人が気づき当庁へ救助要請され、ヘリ、巡視艇、民間救助組織等で捜索し、1時間後に救助された。

川尻岬の事例 2 : 高波による海中転落 (複数)

3人で釣り中、1人が高波にさらわれ海中転落。同行者2名が救助しようとしたところ、同2名も高波にさらわれ3名とも海中転落した。

運よく岸まで上がってこられたが、崖上まで昇る体力がなく当庁へ救助要請され、内1名はヘリにて付近病院へ緊急搬送された。



仙崎海上保安部

TEL:0837-26-3168

～釣り愛好者の皆様へ～

自分の命を守るために必要なこと！

1 救命胴衣の確実な着用！

救命胴衣を常時着用するのは基本中の基本です。落水した場合も、救命胴衣を着用していれば助かる確率が高くなりますので、自分の体格にあったものを選び、ベルトをしっかり締め、確実に着用しましょう。

2 連絡手段を確保！

携帯電話は防水パックに入れ、ストラップ等で携行を！万が一落水した際の連絡手段を確保しましょう。

3 釣り場や帰宅時間を家族等に伝えておく！

家族や友人に釣り場や納竿・帰宅の時間を伝えておきましょう。不慮の事故に見舞われた際、異常の認知や捜索の一助になります。

4 もしもの時は118番！

海中転落などの事故発生時や不信な事象を認めた場合は、緊急通報番号「118」番の活用を！

5 釣り場に適した着装で！

救命胴衣はもちろんのこと、特に磯場は滑りやすく足場も悪いです。転倒や海中転落防止のため磯靴など釣り場に適した格好で臨みましょう。

6 単独行動はやめ複数名で行動！

事故発生時にすばやい救助要請や救助活動のためにも一人での釣行は避け、友人や仲間と一緒に行動しましょう。

7 急な高波に注意！

波やうねりの状況に注意し、海側に背を向ける、磯場で座り込むなどの行為は避けましょう。

8 こまめに天気情報をチェック！

事前の確認だけでなく、釣り中も気象・海象情報をこまめにチェックすることが大切です。荒天が予想される場合は、釣りを止めて早めの帰宅を心がけましょう。

9 釣り中のマナー

「ゴミは必ず持ち帰り」、釣りが終わったら使用した場所をきれいにし、施設利用者の迷惑にならないようにしましょう。